

2026 年 10 月 13 日

ニュースリリース

報道関係各位

入江工研株式会社

入江工研 60 年史を発刊

60 年間の製品開発と企業の歩みを網羅 —1000 年後の技術者へのメッセージ—

入江工研株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：入江則裕、以下「当社」）は、創業 60 周年を記念し、2026 年 10 月 13 日に「見えない力で世界に貢献する IKC のキセキ 入江工研 60 年史」を発刊します。当社は、半導体製造装置や高速鉄道などに使用されるベローズ※の開発・販売を手掛けています。

60 年史は当社ホームページで公開しており、どなたでも閲覧・ダウンロードいただけます。

公開ページの詳細は、本リリース末尾の「60 年史公開ページ」をご覧ください。



入江工研 60 年史表紙

当社は金属ベローズの製作を中核に、人々の生活を支え、より豊かな社会づくりに貢献する製品を提供するため、技術革新、研究開発、生産性の向上に努めてきました。

創業初期は、空調用伸縮継手のほか、鉄道用や原子力関係のベローズなどの製作を主業としていました。その後、加速器部品の製作を契機に、高真空技術分野へ進出しました。

半導体製造装置用の各種真空ベローズをはじめ、ビーム診断機器や真空バルブなど、真空装置の付属機器を幅広く提供してきました。近年は医療機器分野にも進出し、事業領域を広げています。

60 年史では、創業以来の主力製品である多様なベローズ製品、真空技術を活用した「NEGLAZE」、当社初の医療機器製品「ツルサース」などを取り上げ、各製品の開発秘話や製品年表とともに紹介しています。

また、IT バブル崩壊や工場の傾面崩壊といった苦難、それらを乗り越えた過程、近年の AI 活用まで、開発型企業として歩んだ 60 年の歴史も収録しています。

当社は、技術や製品だけでなく、ものづくりに携わる人の想いや企業文化を発信することが、企業理解の促進につながると考えています。60 年史を通じて、お取引先や求職者、ものづくりに関心を持つ方々に、入江工研をより身近に感じていただくことを目指しています。

代表取締役社長の入江則裕は、巻頭言で「入江工研は 100 年どころか 1000 年続く企業を目指しています。1000 年後の技術者にこの思いが届くよう、祈りを込めて作りました」と述べています。

永年勤続社員や OB へのインタビューも収録しており、製品開発を支えてきた人々の言葉を通じて、当社が受け継いできた技術への姿勢や企業文化を感じていただける内容となっています。

※「ベローズ (Bellows)」とは、日本語に訳すと「蛇腹」という意味を持ちます。工業製品でいう「蛇腹」とは、紙・布・プラスチック・金属などの膜ないしは板状の部材で作られる、山折りと谷折りの繰り返し構造の製品です。真空を扱う分野では、一般に金属で製作した筒状のものにひだを設け、伸縮性・気密性・バネ性を持たせたものを「ベローズ」と呼んでいます。つまり、「ベローズ」＝「伸縮管」です。

■60 年史の主な内容

- ① 巻頭言・企業理念
- ② 会社概要・所在地
- ③ 創業からの歩み
- ④ 製品開発秘話
- ⑤ 製品年表
- ⑥ 企業年表

■60 年史公開ページ

https://www.ikc.co.jp/company/Profile_and_History.html

※上記ページからダウンロードいただけます。

■入江工研株式会社 会社概要

代表者 : 代表取締役社長 入江則裕
設立 : 1966 年（昭和 41 年）5 月 24 日
資本金 : 1 億円
住所 : 〒100-0011
東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 414
電話番号 : 03-3507-9611（代表）
FAX : 03-3507-9615（代表）
URL : <https://www.ikc.co.jp/>
従業員数 : 196 名（2026 年 3 月 31 日現在）

社長ラジオ「入江則裕 FM」を配信開始しました（毎週木曜日に毎週配信）

入江則裕 FM-真空からフルート、お花まで多趣味な社長の日常を覗き見 社長の趣味は仕事の補助線

<https://creators.spotify.com/pod/profile/n9sp6bivtu/>

<本件に関するお問い合わせ先>

入江工研株式会社 経営企画室 広報係 担当 村山

TEL:03-3507-9617/ Fax: 03-3507-9615

Mail: koho@ikc.co.jp